

編集後記

本年度から横幹連合の理事、かつ編集委員会の委員として、その活動に参加させていただくことになりました群馬大学社会情報学部の税所哲郎（さいしよてつろう）です。

私は、企業人として約20年間の経験を経て、6年前に産業界からアカデミックな分野へと転身を行いました。大学の研究で得られた知識を社会に役立つものにするには、企業や大学といった産と学の連携および政府・自治体といった官の支援、つまり、産官学による産業界と大学、政府・自治体の3者のトライアングルが影響し合い、その成果を広く社会に還元することが欠かせません。そのような思いのもとで、大学教員としての活動では、産官学のそれぞれの分野の橋渡しを行い、現代社会の実態解明や課題解決に貢献するための独創的な技術や方法論を見つけ出ししていくための研究を行ってきました。

また、本年度から活動をさせていただいている横幹連合は、研究対象分野が180度違うような人文学・社会科学系の学会や先端技術・自然科学系の学会が加盟・参加しています。横幹連合では、これまでの個別の学会活動の中で、概念や表現、知識体系、研究アプローチ、評価方法などが限りなく「タテ」に細分化されている学術

界の現実とその弊害の姿に対して、科学技術の推進力として新領域・融合領域・学際化が台頭しつつある現状を鑑みて「ヨコ」の軸の連携とともに、その必要性や重要性をさまざまな学会に対して訴えて、学会間の連携を強化・拡大するための活動を行っています。

大学教員および横幹連合理事、いずれの活動においても従来の固定概念にとられない柔軟な発想や思考が求められており、各分野間の垣根を越えたさまざまな活動は、新たな分野を切り開くとともに、知の独創性を育む取り組みのひとつであると思います。このような困難で複雑な目的や使命に対して、微力ですが少しでも貢献できるように活動を行っています。

さて、本号のミニ特集は「社会デザイン」です。各研究分野における第一線の先生方に、これも難しい課題である社会デザインについて執筆していただきました。社会デザインは、その対象範囲がとても広いために、いったい何が課題なのかがよくわからなかったかもしれませんが、その一端が理解できたのではないのでしょうか？これからも横幹連合ならではの会誌内容・構成にすべく、努力していきたいと思っています。

会誌編集委員会副委員長 税所 哲郎（群馬大学）

【特定非営利活動法人 横断型基幹科学技術研究団体連合（横幹連合）】

2010 年度役員

会 長	木村英紀（（独）理化学研究所）	
副 会 長	出口光一郎（東北大学）	安岡義文（（独）国立環境研究所）
理 事	青木和夫（日本大学）	大熊和彦（（株）未来工学研究所）
	太田敏澄（電気通信大学）	木野泰伸（筑波大学）
	小坂満隆（北陸先端科学技術大学院大学）	後藤 彰（（株）荏原製作所）
	税所哲郎（群馬大学）	佐藤吉伸（東京海洋大学）
	舘 暲（慶應義塾大学）	玉置 久（神戸大学）
	田村義保（統計数理研究所）	椿 広計（統計数理研究所）
	仲谷義雄（立命館大学）	布川博士（岩手県立大学）
	野口昭治（東京理科大学）	平井成興（千葉工業大学）
	船橋誠壽（（株）日立製作所）	本多 敏（慶應義塾大学）
	山崎 憲（日本大学）	
監 事	鈴木久敏（筑波大学）	西村千秋（東邦大学）

2010 年度 会誌編集委員会

委 員 長	青木和夫（日本大学）	
副委員長	税所哲郎（群馬大学）	
委 員	大倉典子（芝浦工業大学）	加藤象二郎（愛知みずほ大学）
	金子勝一（山梨学院大学）	榎木哲夫（京都大学）
	庄司裕子（中央大学）	杉野 隆（国土館大学）
	玉置 久（神戸大学）	椿 広計（統計数理研究所）
	長嶋雲兵（産業技術総合研究所）	奈良高明（電気通信大学）
	三宅美博（東京工業大学）	山田雄二（筑波大学）
	山本正宣（（株）シグナルコンサルタント）	